

# Xフロンティア

X FRONTIER

No. 21-022-2020作成

新築

工場・物流

発注者	SGリアルティ株式会社・株式会社IHI	カテゴリー				
設計・監理	株式会社フジター級建築士事務所 Fujita Corporation	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	株式会社フジタ 東京支店	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## 環境配慮型日本最大級の次世代型物流センター



全体像

Xフロンティアは、通過型物流センターと在庫型物流センター、さらにグループ各社の多様な物流機能が交わるSGホールディングスグループのフラッグシップセンターである。

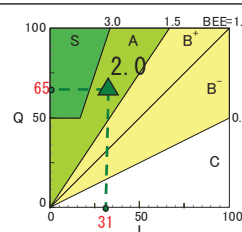
日本最大級の物流施設の建設にあたり、環境負荷低減と災害に強い施設づくりを目指し行政と都市計画・開発行為・景観・緑地について綿密な調整・計画を行った。

多数の車両の出入があるため、各階車路は建物内に内包し、外観・環境上周辺に対し影響を極力抑える設計とした。建物周囲の緑地、壁面・屋根緑化が巨大な建物を取り囲み建築物の圧迫感を軽減し、都市景観との一体性も確保している。



運河からの外観

建物データ	所在地 東京都江東区	省エネルギー性能	BELS ★★★★★	CASBEE評価	Aランク BEE=2.0 2016年度版 第三者認証
竣工年	2020年				
敷地面積	69,847.73㎡				
延床面積	143,270.70㎡				
構造	鉄骨造				
階数	地上7階				



### ■省エネルギー

外壁の断熱材を強化し、ガラスをLow-eガラスとすることで建物の熱負荷を抑制している。複雑で広大な配送センター内にはLED照明・人感センサーを採用し省エネルギーに配慮した。自動水栓や、省水型機器を用いることで水資源を保護している。ノンフロン断熱材を採用し汚染物質含有材料の使用を回避している。

### ■防災対応＜非常用発電機設備＞

非常用ガスタービン発電装置を導入した非常用発電機棟を設置。コンパクトでありながら、高出力かつ低燃費を実現し、停電時でも安定的な電力供給を行い3日間の施設機能維持が可能。

### ■周辺環境に配慮した施設づくり

地上部、屋上、壁面に緑地を設け、多様な樹木により緑化を行っている。適切な駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、荷捌き車両の駐車施設を確保するなど交通負荷の抑制に配慮している。



非常用発電機棟



東面ファサード



屋上緑化

設計担当者

統括：岡本猛士／建築：現海理／構造：吉井靖典、大倉直樹、設備／宮下直也、白石 先之

### 主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（非常用電源）
- Q2. 3. 対応性・更新性（テナント設備の増設対応）
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（地上・壁面・屋上緑化）
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（緑化・ランドスケープ）
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制（外壁断熱パネル、Low-eガラス）
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮（LCCO2削減 LED照明、人感センサー）